

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあつては名称) J X T G エネルギー株式会社		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒 100-8162 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 2 号	
本票作成	部署名： 環境安全部 (本社)				
主たる業種	分類コード	17	業種名： 石油製品・石炭製品製造業		
事業の概要	石油精製業 (水島製油所A工場, B工場)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	水島製油所		倉敷市潮通二丁目 1 番地	
	②	水島製油所青葉クラブ		倉敷市水島青葉町 3 番	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 元 年度 ~ 令和 3 年度 (3 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 30 年度)			目標年度 (令和 3 年度)					
	4,572,425 t CO ₂			4,435,252 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 30 年度) の排出量					
	①	水島製油所		4,572,299 t CO ₂					
	②	水島製油所青葉クラブ		126 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 常圧蒸留装置換算通油量	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		23.376 t CO ₂ / (千KL)	22.675 t CO ₂ / (千KL)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 30 年度)	達成率 (%)
指標の状況	石油精製業	0.876 以下	0.896	97.8%

【目標削減率設定の基本的な考え方】

・JXTGエネルギー精製部門 (9製油所, 2製造所) 全体で、エネルギー消費原単位 (エネルギー使用量を常圧蒸留装置換算通油量で除した数値) を、2009年度対比、2021年度に12%削減するという努力目標を設定し、着実な省エネ投資ならびに省エネルギー活動を推進する。
 ・その他オフィスや福利厚生施設については、エネルギー消費原単位 (原単位分母は個別に設定) を年率1%削減する。

【目標削減率達成のための推進体制】

「エネルギー管理に関する要領」を定め、改正省エネ法上のエネルギー管理統括者を中心とした管理体制を定め、全事業所のエネルギーならびにCO₂削減目標達成に向けた活動を推進している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・大型コンプレッサーのモーター稼働への変更（継続） ・スチームトラップの管理強化によるスチームロス削減活動実施（今後も継続） ・B工場第3常圧蒸留装置熱交換器再編 ・A工場第3常圧蒸留装置熱交換器再編 ・第6水素化脱硫装置のホットセパレータ設置 ・A工場ボイラー給水予熱系増強 ・重油タンクの保温強化 等

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
	<ul style="list-style-type: none"> ・A工場重油半製品タンクへの側板保温施工による省エネ ・大型コンプレッサーのモーター稼働への変更（継続） ・スチームトラップの管理強化によるスチームロス削減活動実施（今後も継続）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--